



# これからの社会を支える都市の自然環境 —人口減少や都市再編に対応した緑地計画技術—

## 研究の背景・目的

### □ 人口減少と都市の縮退

- ✓ 日本は2008年をピークに人口減少局面に入っており、2050年には人口が1億人を割り込み、高齢化率は約4割に達すると推計されている。
- ✓ 人口減少・少子高齢化の進行に伴い、都市のあり方について、これまでの拡大から均衡・縮小へと見直すことが求められている。
- ✓ 都市機能の集約化とともに、市街地にランダムに発生する未利用地への対応や管理の行き届かない公園や樹林地等の扱いも課題になっている。

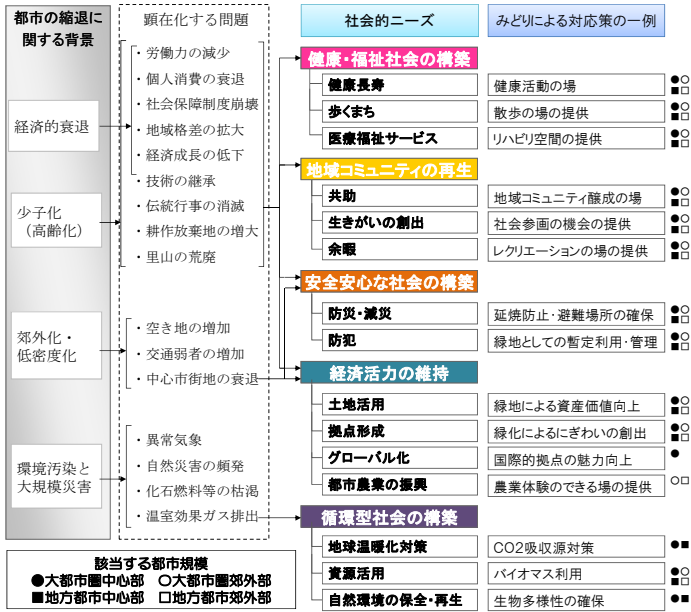
### □ これからの緑地計画に求められる考え方

- ✓ これからの緑地計画は、人口減少や都市の縮退等を背景に、“都市が拡大基調にある中で如何に緑やオープンスペースを確保するか”だけでなく“拡大を前提としない社会でも、みどりを通じたまちづくりによって如何に人々の幸せな暮らしを実現するか”という新たな観点も必要。
- ✓ これからの緑地計画に有効な手法・技術をとりとまとめることを目的として、緑地計画において、公園や緑の量的充足を図るだけでなく、公園や緑を活用して地域の魅力や社会的課題の解決、ストック効果の発現といった観点から取組を実施している先進事例を調査。

## 研究内容

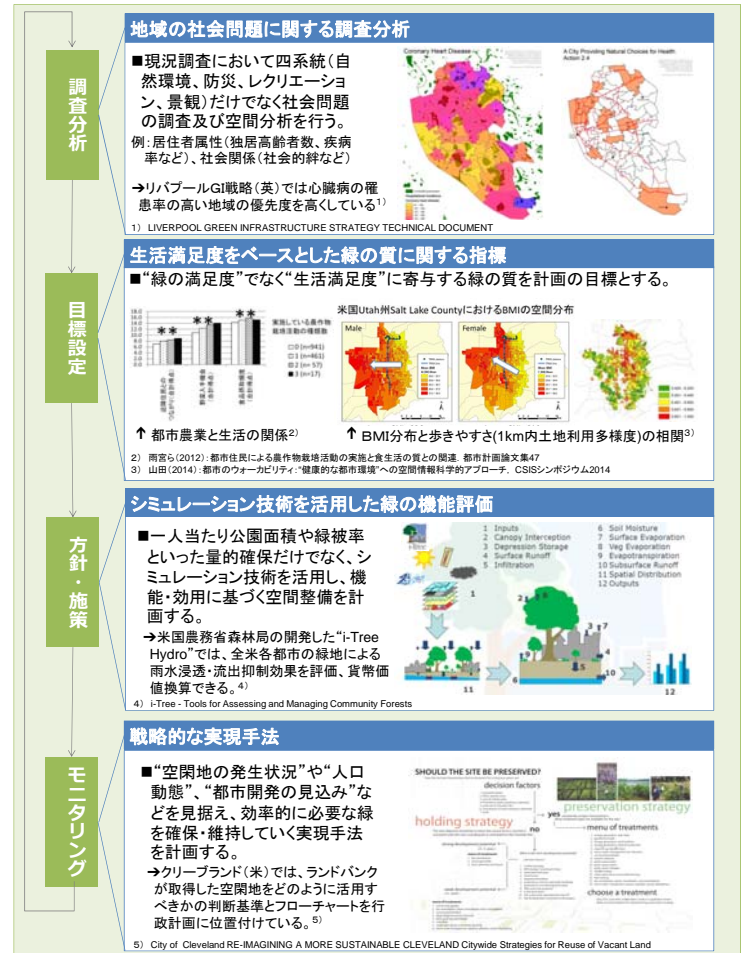
### □ 人口減少時代に求められる緑の役割

- ✓ 既往研究（文献数：149）をもとに、都市の縮退に対する社会的ニーズと対応する緑やオープンスペースの機能について整理。

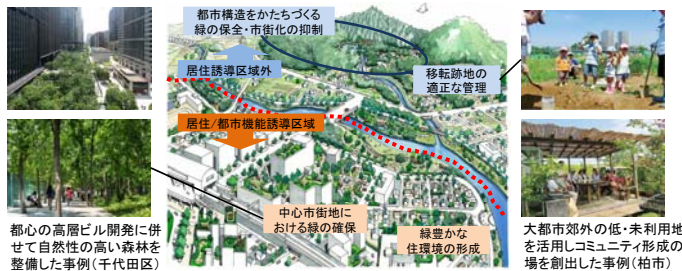


### □ これからの緑地計画に有効な手法・技術

- ✓ ①国内の事例調査（30事例）、②海外の事例調査（5事例）、③学識経験者からの意見聴取をもとに、今後の社会的ニーズを踏まえた緑地計画に有効な手法・技術を整理。



### □ コンパクトシティにおける自然環境のイメージ



## 今後の予定

### □ 「緑地計画に期待される役割及び策定手法に関する解説資料」のとりまとめ

- ✓ 本研究の成果は、「緑地計画に期待される役割及び策定手法に関する解説資料」としてとりまとめ、今後の都市と緑のあり方や、緑地計画のあり方についてのノウハウ・アイデアを示すことで、地方公共団体による緑の基本計画等緑地計画の策定・改訂の取り組みを支援していく。

